

自分たちのまちは、どうありたいか（どうあってほしいか）

福祉・医療

大病院の集中でなく町医者で各個人と近い診療

遠隔医療、共通カルテ

検診受診率の向上

周産期医療の維持

訪問医療の充実

健康寿命県内（全国）1位の町

生きがいのある老後

老後安心して暮らせる町

町全てがユニバーサルデザイン

産業

生涯活躍のまち 子供から高齢者まで活躍できるシステム

木材資源の活用 エネルギー 観光

観光分業化（協力体制）

自然を大事にする（管理をしながらも破壊しないやり方）

働く場所が豊かな町

漁業振興（後継者 移住者）

全町光ファイバーを使ったまちづくり 福祉、見守り、サテライトオフィス、情報発信

温泉の維持・活用

食肉加工所の開設による産業振興と有害対策

耕作放棄地の再生・活用⇒移住促進

南伊豆の農漁産物を全国で流通させるルートづくり

長期滞在型観光（健康をテーマに）

その他

人口増加のため、移住体験のハードルを下げ

区を行政に巻き込む

町民が政治に参加しやすい仕組みづくり

ESG環境投資に耐えうる町（例）海洋プラへの光進対策

コミュニティの維持 独居+若者+移住者

祝日の廃止有休の全取得

景観のブラッシュアップ 世界に賞賛される景観の保持、形成

コンパクトシティ消滅 集落対策にもなるか？

我慢と実施のバランスがとれた行政（意識改革）

祭り等地域行事伝統の継承

町民意識の改革（移住者との共生）

害獣被害のない町

子育て・教育

南伊豆分校のブランド化

南伊豆分校に寄宿舍 林業課

休日保育の実施

子育て世代への充実したサービス（子育て支援）

高度な教育が受けられる

山林等を活かした保育の実施

若者でにぎわう活気のあるまち

社会に関心を持つ若者を育てる

市町を超えた部活動

学校食の安全性の基準を設ける

ダブル・ケアのバックアップ

片親の受け入れ 就業バックアップなど

分校へ社会人の枠を設ける（例）40歳以下の女性のみとか

安心して子育てができる

交通

使いやすく安価な交通手段

近隣コミュニティによる車乗り合い（有償）

町バスの循環（必要であれば）

バスダイヤの見直し

重点的方向

「住民との協同」 役場と町民で各自役割分担とやることを明確にして平行実施

環境への意識→産業につながる（例）地道な活動から各地域のゴミ拾いなど

「生涯活躍」高齢者や子供を含めた安心できる暮らし、生きがい 相互 互助

「分校のブランド化」 農業、林業を生かし、若者と大人への教育の機会をひらく